

VI 調査から見えてくる課題と成果

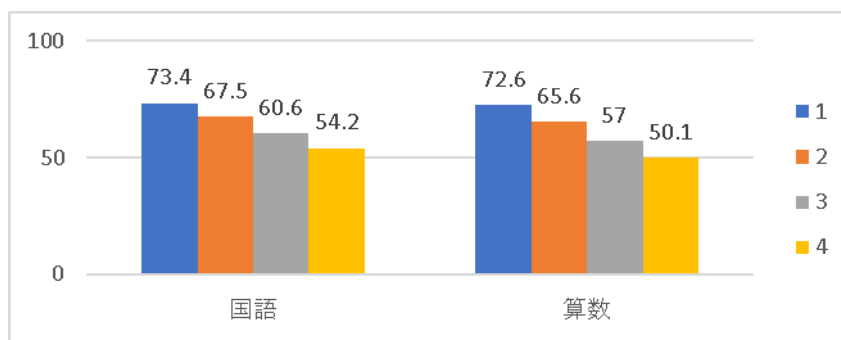
質問調査の分析から

児童生徒質問と学力のクロス分析

【小学校】

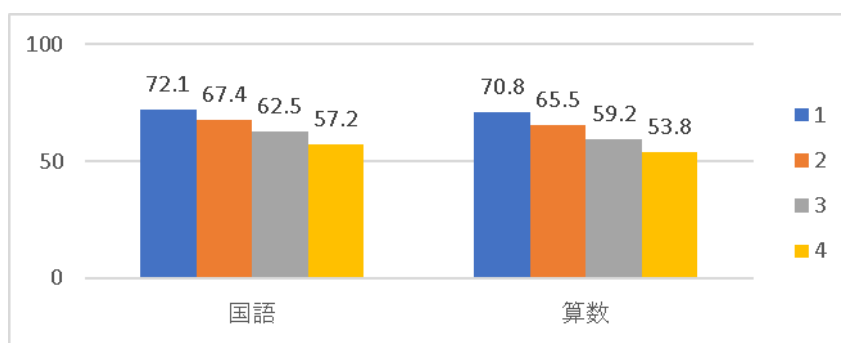
○以下の質問項目に肯定的に回答している児童ほど、**2教科とも正答率が高い傾向**が見られた。

Q30：授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた



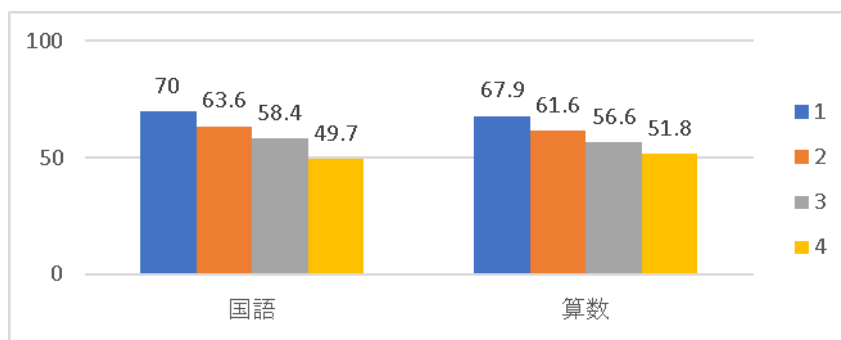
1 当てはまる / 2 どちらかといえば、当てはまる / 3 どちらかといえば、当てはまらない / 4 当てはまらない

Q34：学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



1 当てはまる / 2 どちらかといえば、当てはまる / 3 どちらかといえば、当てはまらない / 4 当てはまらない

Q49：国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で書かれているのかに着目していますか

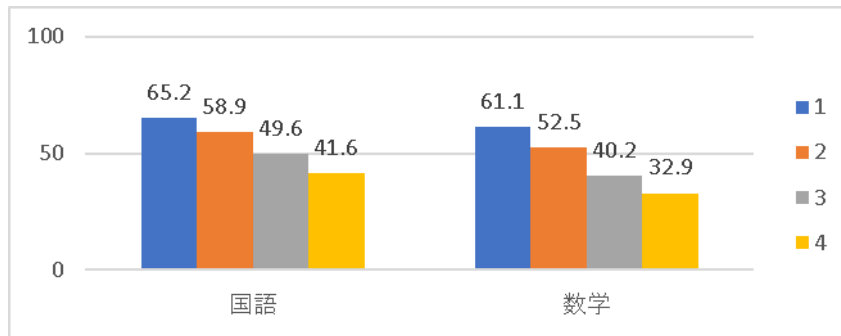


1 当てはまる / 2 どちらかといえば、当てはまる / 3 どちらかといえば、当てはまらない / 4 当てはまらない

【中学校】

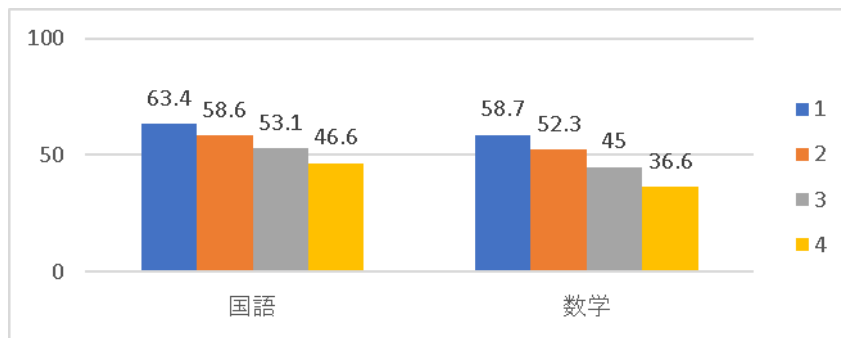
○以下の質問項目に肯定的に回答している生徒ほど、**2教科とも正答率が高い傾向**が見られた。

Q30：授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた



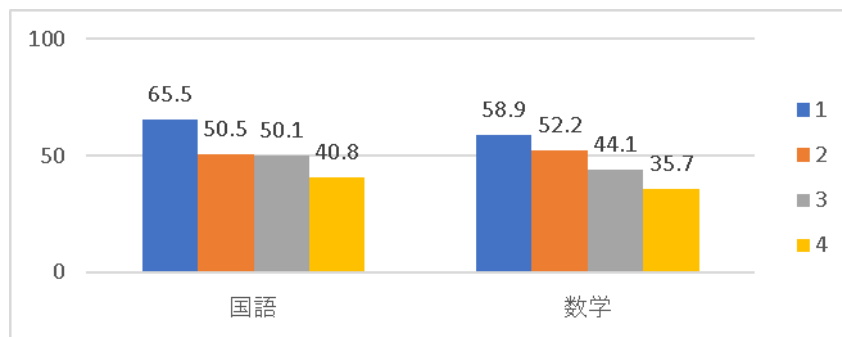
1 当てはまる / 2 どちらかといえば、当てはまる / 3 どちらかといえば、当てはまらない / 4 当てはまらない

Q34：学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



1 当てはまる / 2 どちらかといえば、当てはまる / 3 どちらかといえば、当てはまらない / 4 当てはまらない

Q49：国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈していますか



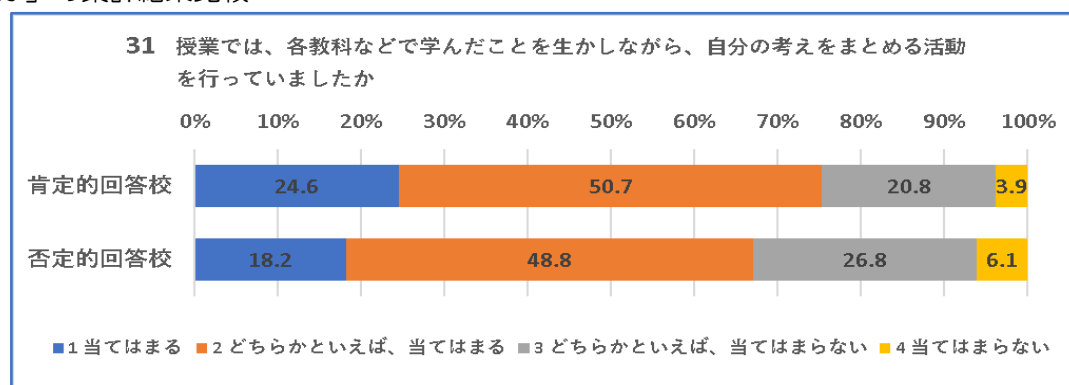
1 当てはまる / 2 どちらかといえば、当てはまる / 3 どちらかといえば、当てはまらない / 4 当てはまらない

学校質問と児童生徒質問のクロス分析

児童生徒質問項目と、学校質問項目について分析したところ、特に中学校において次のような特徴的な様子が見られた。

○生徒が言語活動をととして各教科・領域の学習に取り組んでいる学校では、「31 授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」に対して肯定的に回答している生徒が多い。

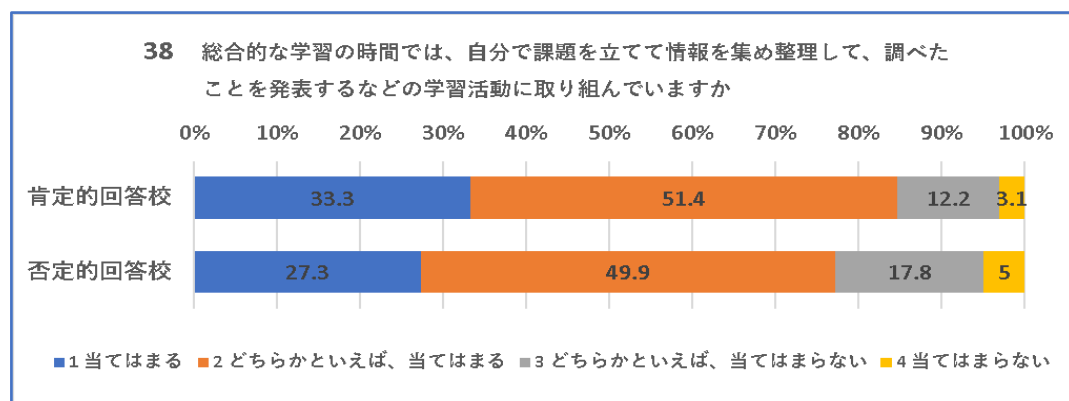
例)「学校質問15：言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか」に対して、肯定的に回答した学校と否定的に回答した学校の「31 授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」の集計結果比較



「29 授業では、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」でも同様の傾向が見られた。

○教科横断的な視点や、探究的な学びの視点を取り入れることが意識されている学校では、「38 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」に対して肯定的に回答している生徒が多い。

例)「学校質問35：各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか」に対して、肯定的に回答した学校と否定的に回答した学校の「38 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の集計結果比較



「37 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか」でも同様の傾向が見られた。